

# 2021年3月期 中間期決算の概要と 今後の主な取り組みについて



関西みらいフィナンシャルグループ

2020年11月17日

- 本資料における表記、計数の定義は下記の通りです。

[FG連結]関西みらいフィナンシャルグループ連結計数、  
[銀行合算] 関西みらい銀行、みなと銀行2行の単純合算計数  
計数には社内管理計数を含みます。

【本資料における表記について】

FG	関西みらいフィナンシャルグループ
KMB	関西みらい銀行
MB	みなと銀行
KO	旧 近畿大阪銀行

KU	旧 関西アーバン銀行
HD	りそなホールディングス
RB	りそな銀行

本資料中の、将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

具体的には、本邦における株価水準の変動、政府や中央銀行の方針、法令、実務慣行および解釈に係る展開および変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びに当社のコントロールの及ばない要因などです。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。

# 目次

## 2021年3月期中間期決算の概要

2021年3月期 中間期決算の概要	P.4
2021年3月期 中間期 損益内訳	P.5
期間損益の前年同期比増減要因(FG連結)	P.6
期間損益の前年同期比増減要因(銀行合算)	P.7
貸出金・預金の平残・利回り(国内)	P.8
貸出金・預金末残	P.9
住宅ローンビジネス	P.10
フィー収益	P.11
資産形成サポートビジネス	P.12
与信費用、不良債権	P.13
有価証券	P.14
自己資本比率	P.15
2021年3月期 業績目標	P.16
グループ銀行のノウハウ横展開	P.17

## 今後の主な取り組みについて(経営戦略について)

新型コロナウイルスへの対応について(金融+ $\alpha$ の取り組み)	P.19
改革への取り組み ①チャネル改革	P.20
改革への取り組み ②業務改革・デジタル化	P.21
改革への取り組み ③人財改革	P.22
シナジーの進捗状況について	P.23
SDGsへの取り組みについて	P.24
当社のさらなる成長に向けて	P.25
完全子会社化における当社としての意義	P.26

# 2021年3月期中間期決算の概要

今後の主な取り組みについて  
(経営戦略について)

# 2021年3月期 中間期決算の概要

## ■親会社株主に帰属する中間純利益:53億円

- ・前年同期比△24億円(△31.8%)
- ・通期目標 60億円 進捗率89.0%

## ■実質業務純益:138億円 前年同期比△4億円(△3.3%)

### ●業務粗利益:691億円 前年同期比△24億円(△3.4%)

- ・国内預貸金利益\*1 482億円 前年同期比△7億円  
貸出金平残+2.50%、預貸金利回り差△0.04%  
利回り低下幅は引き続き縮小
- ・役務取引等利益 134億円 前年同期比+6億円  
コロナ禍における対面営業の制約等があるものの、  
住宅ローン関係が好調

### ●経費:△552億円 前年同期比+19億円(改善)

- ・統合関連費用△18億円を吸収した上で前年同期比改善

## ■与信費用:△58億円 前年同期比△57億円

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い前年同期比増加するも、  
通期目標の3分の1での進捗

(参考 2行合算 △40億円 通期目標 △125億円)

### 【参考】2行合算

## ■実質業務純益:107億円 通期目標210億円 進捗率 51.0%

## ■中間純利益 : 52億円 通期目標 50億円 進捗率104.5%

関西みらいFG連結決算 (億円)		2021/3期 中間期	前年 同期比	増減率
親会社株主に帰属する 中間純利益	(1)	53	△24	△31.8%
業務粗利益	(2)	691	△24	△3.4%
資金利益	(3)	530	△17	
うち国内預貸金利益*1	(4)	482	△7	
役務取引等利益	(5)	134	+6	
その他業務利益	(6)	25	△12	
うち債券関係損益	(7)	10	△14	
経費(除く銀行臨時処理分)	(8)	△552	+19	+3.4%
OHR	(9)	79.9%	△0.0%	
実質業務純益(2+8)	(10)	138	△4	△3.3%
株式等関係損益	(11)	7	+5	
与信費用	(12)	△58	△57	
その他の臨時損益等	(13)	△19	+26	
経常利益	(14)	67	△30	△31.1%
特別損益	(15)	4	△3	
税金等調整前中間純利益	(16)	72	△34	△32.0%

\*1 国内預貸金利益：2行合算、譲渡性預金を含む

\*2 利益にマイナスの場合は「△」を付して表示

# 2021年3月期中間期 損益内訳

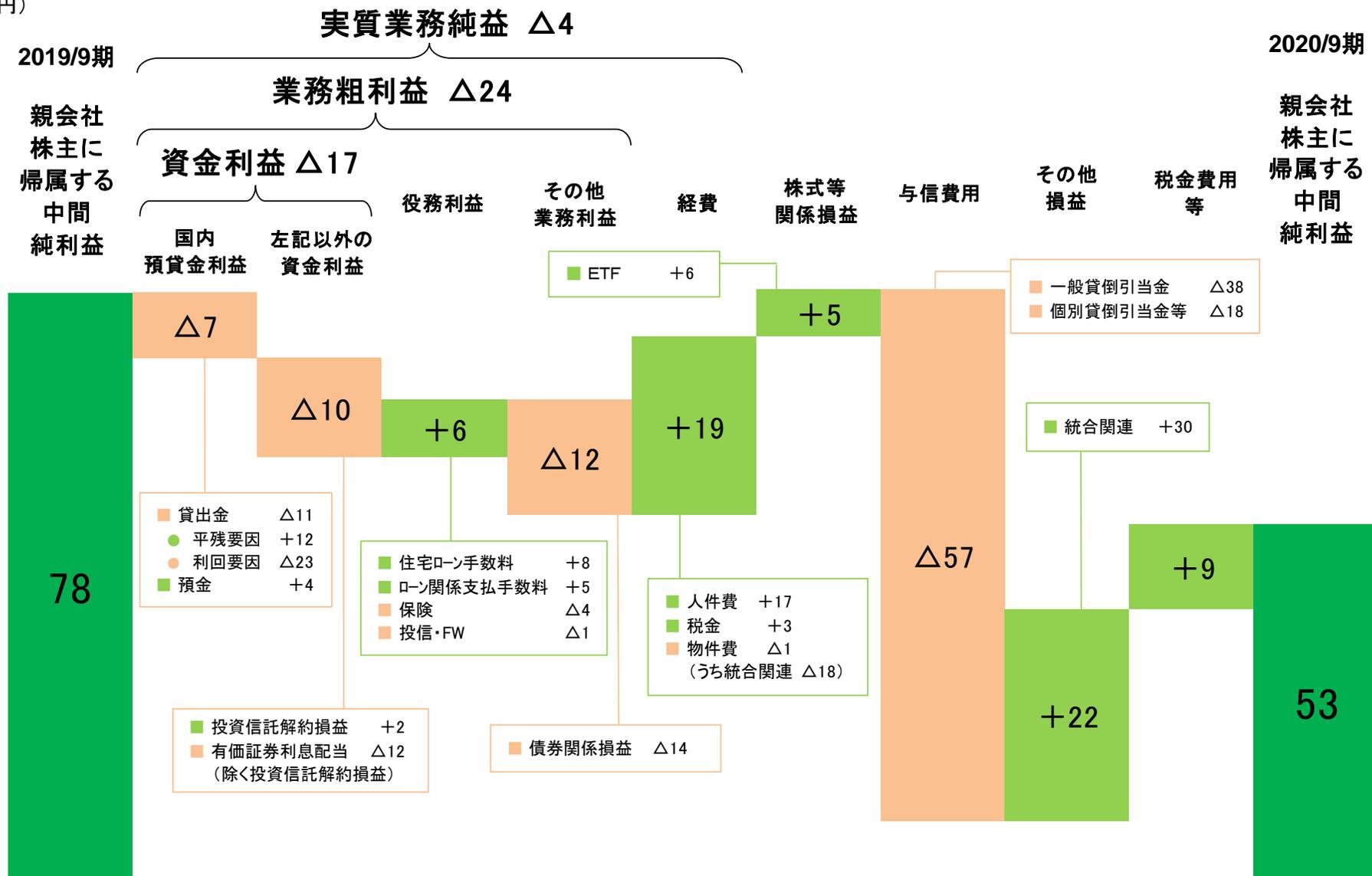
(億円)	関西みらいFG連結		2行合算(単体)		関西みらい		みなと		連単差	
		前年同期比		前年同期比						前年同期比
業務粗利益 (1)	691	△24	641	△27	452	188	50	+3		
資金利益 (2)	530	△17	523	△20	380	143	7	+3		
うち国内預貸金利益 (3)			482	△7	354	128				
うち投資信託解約損益 (4)	17	+2	11	△3	8	3	5	+5		
役務取引等利益 (5)	134	+6	96	+7	61	35	38	△1		
その他業務利益 (6)	25	△12	20	△14	11	9	4	+2		
うち債券関係損益 (7)	10	△14	9	△17	2	7	1	+2		
経費(除く銀行臨時処理分) (8)	△552	+19	* △534	+18	* △376	△158	△18	+0		
OHR (9)	79.9%	△0.0%	83.3%	+0.6%	83.1%	83.7%				
実質業務純益 (10)	138	△4	* 107	△8	* 76	30	31	+4		
コア業務純益(除く投資信託解約損益) (11)			85	+11	65	20				
株式等関係損益 (12)	7	+5	23	△23	15	7	△16	+28		
与信費用 (13)	△58	△57	△40	△46	△22	△18	△17	△10		
その他の臨時損益等 (14)	△19	+26	△24	+26	△17	△7	4	△0		
経常利益 (15)	67	△30	65	△52	52	12	2	+22		
特別損益 (16)	4	△3	6	+1	7	△0	△2	△4		
税引前(税金等調整前) 中間純利益 (17)	72	△34	72	△51	59	12	0	+17		
(親会社株主に帰属する) 中間純利益 (18)	53	△24	52	△37	43	8	1	+12		

\* 関西みらい銀行の旧びわこ銀行のれん償却額(△3億円)を除く

# 期間損益の前年同期比増減要因

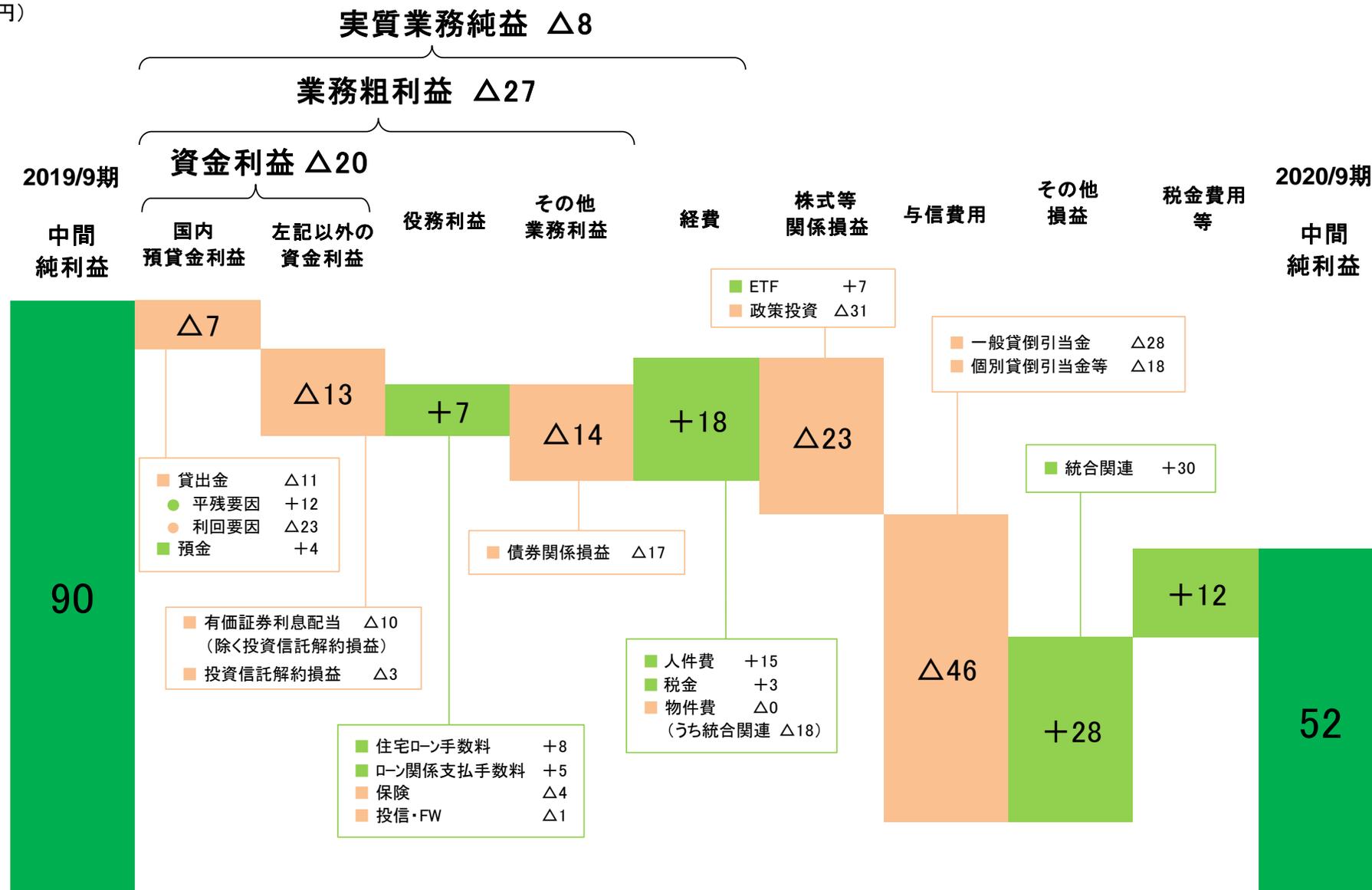
FG連結

(億円)



# 期間損益の前年同期比増減要因

(億円)



# 貸出金・預金の平残・利回り(国内\*1)

銀行合算

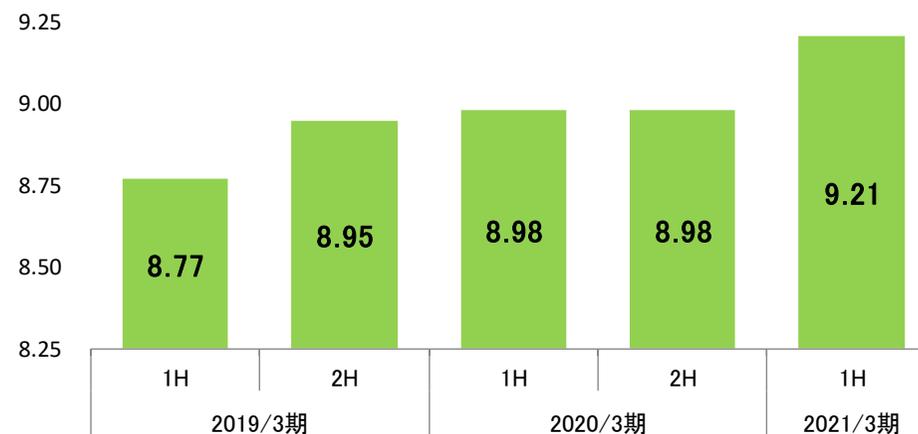
## 貸出金・預金の平残、利回り、利回り差

〔平残:兆円 収益・費用:億円〕		2021/3期			
		中間期 実績	前年 同期比	修正 計画	前期比
貸出金	平残 (1)	9.21	+2.50%	9.32	+3.75%
	利回り (2)	1.08%	△0.05%	1.07%	△0.05%
	収益 (3)	499	△11	1,002	△13
預金+NCD	平残 (4)	10.87	+0.52%	10.96	+2.13%
	利回り (5)	0.03%	△0.00%	0.02%	△0.00%
	費用 (6)	△16	+4	△32	+8
預貸金 (国内)	利回り 差 (7)	1.05%	△0.04%	1.04%	△0.04%
	利益 (8)	482	△7	969	△5

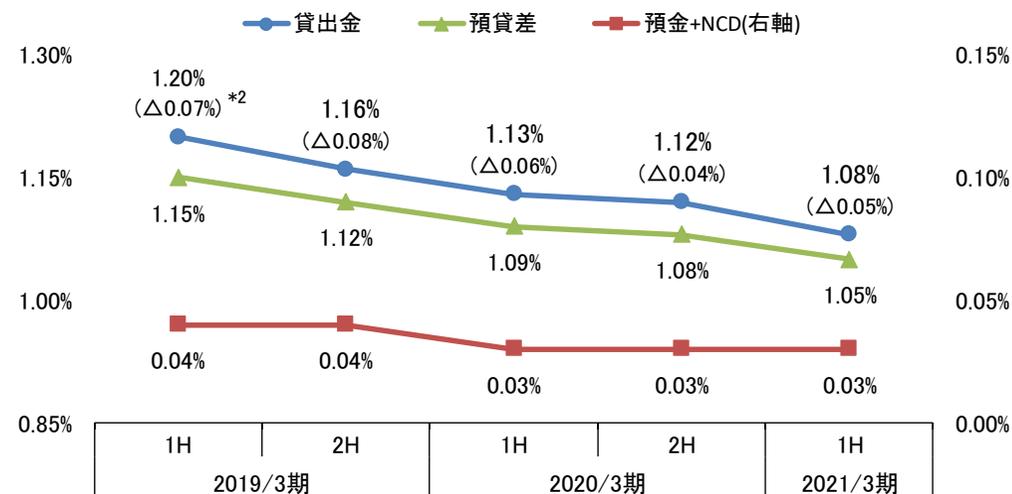
\*1 外貨建等を含めず

## 貸出金平残

(兆円)



## 預貸金利回り・利回り差

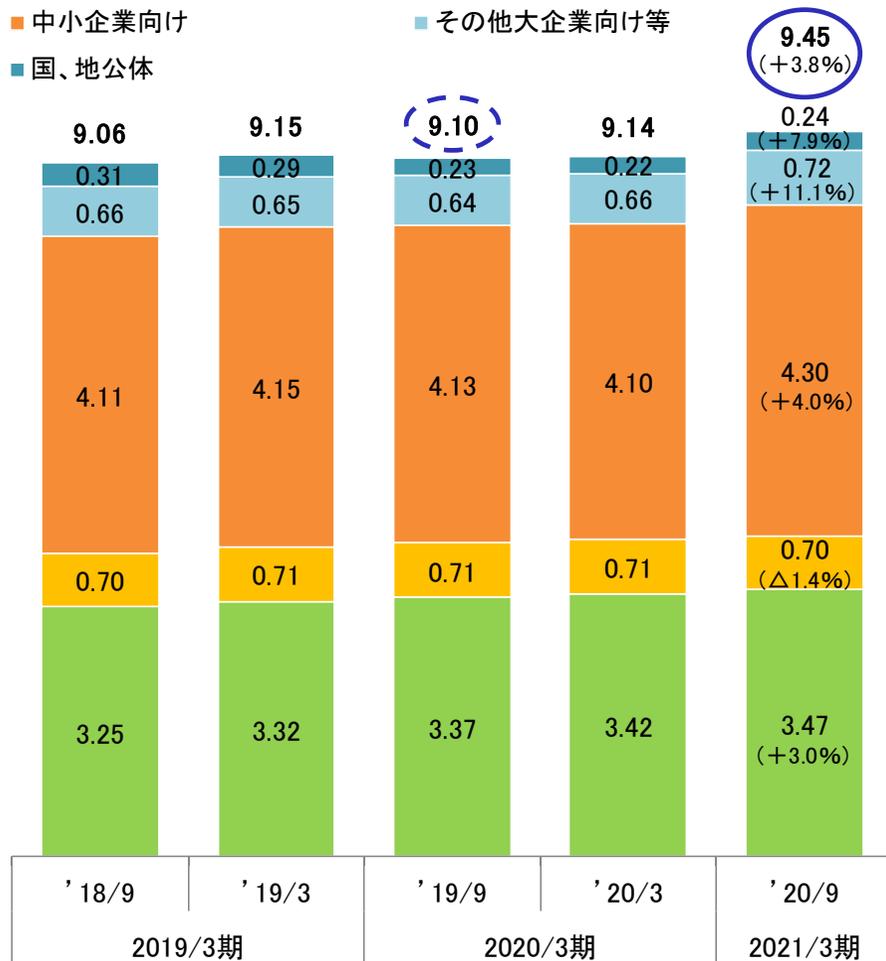


\*2 ( )内は前年同期比増減

## 貸出金末残(全店\*1)

[ 兆円、()内は前年同期比増減率 ]

- 自己居住用住宅+消費性ローン
- アパートマンションローン
- 中小企業向け
- その他大企業向け等
- 国、地公体

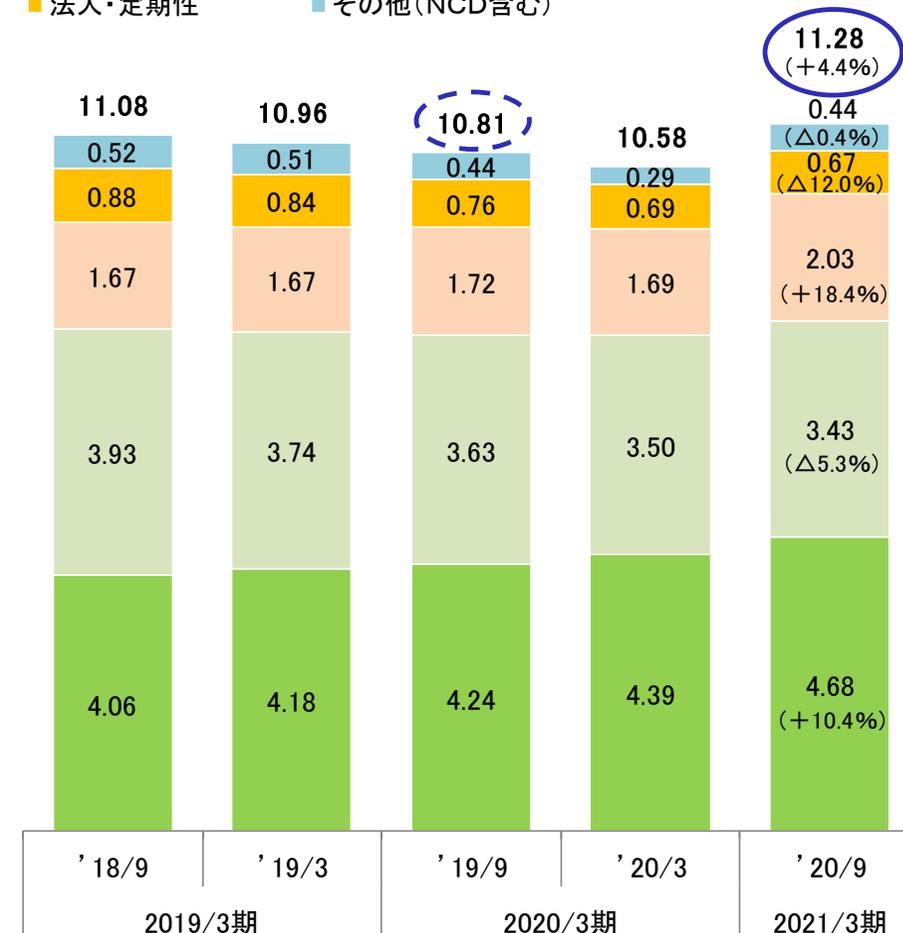


\*1.外貨建等を含む全ての貸出金

## 預金末残(全店\*2)

[ 兆円、()内は前年同期比増減率 ]

- 個人・流動性その他\*3
- 個人・定期性
- 法人・流動性その他\*3
- 法人・定期性
- その他(NCD含む)



\*2.外貨建等を含む全ての預金

\*3.流動性その他=当座+普通+貯蓄+通知+別段等

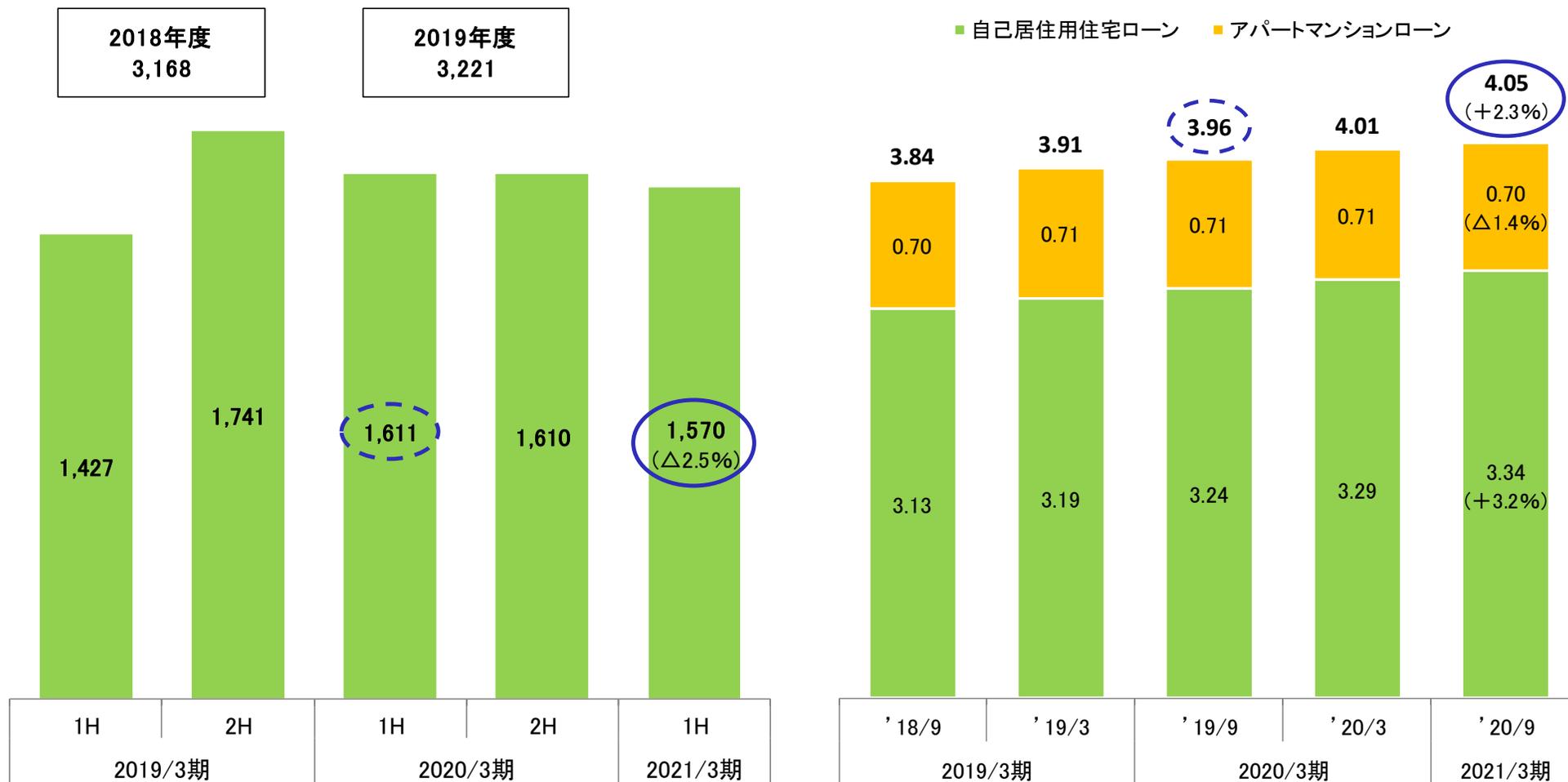
### 自己居住用住宅ローン実行額

[ 億円、()内は前年同期比増減率 ]

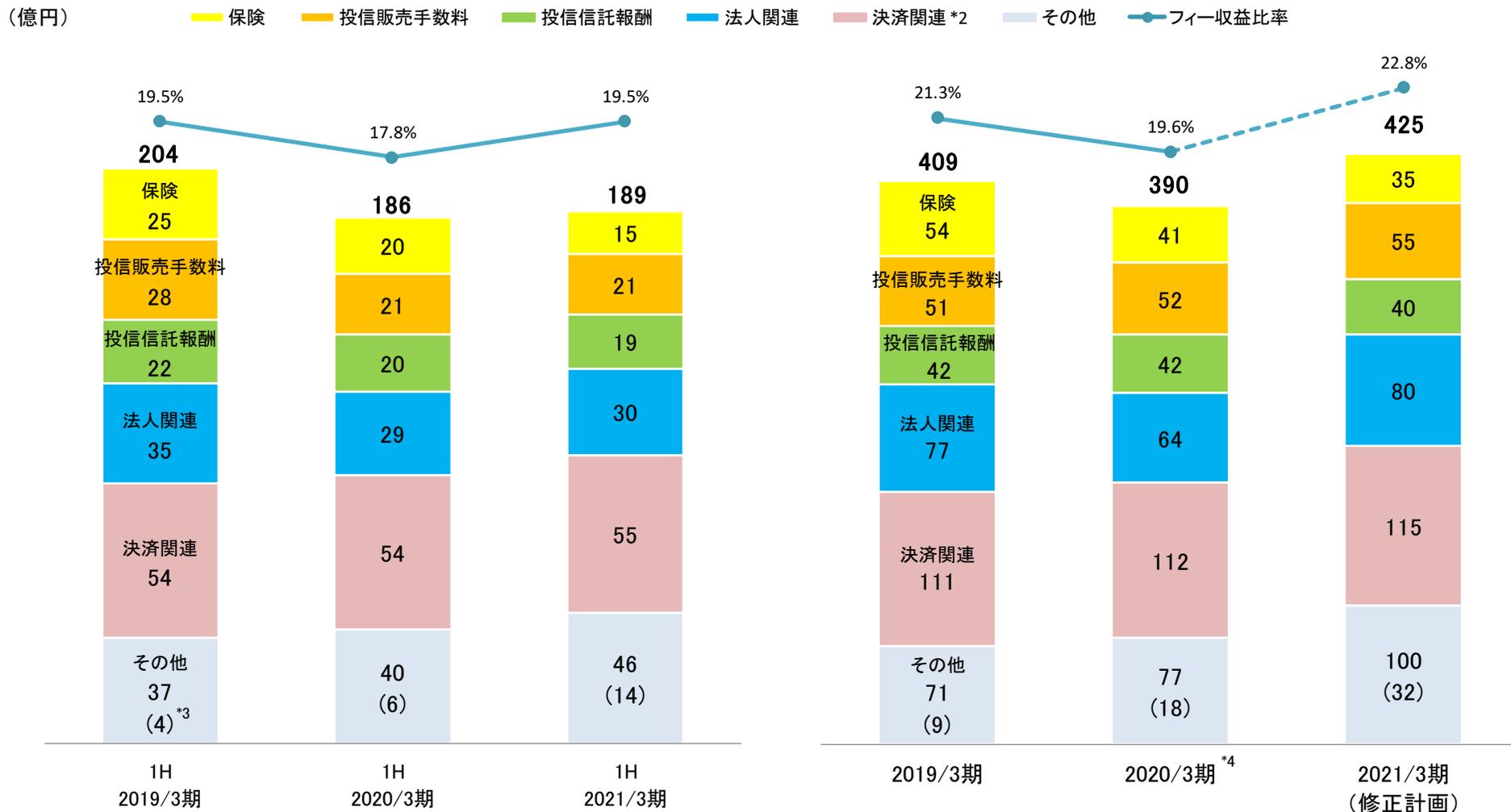
(フラット含む)

### 住宅ローン末残

[ 兆円、()内は前年同期比増減率 ]



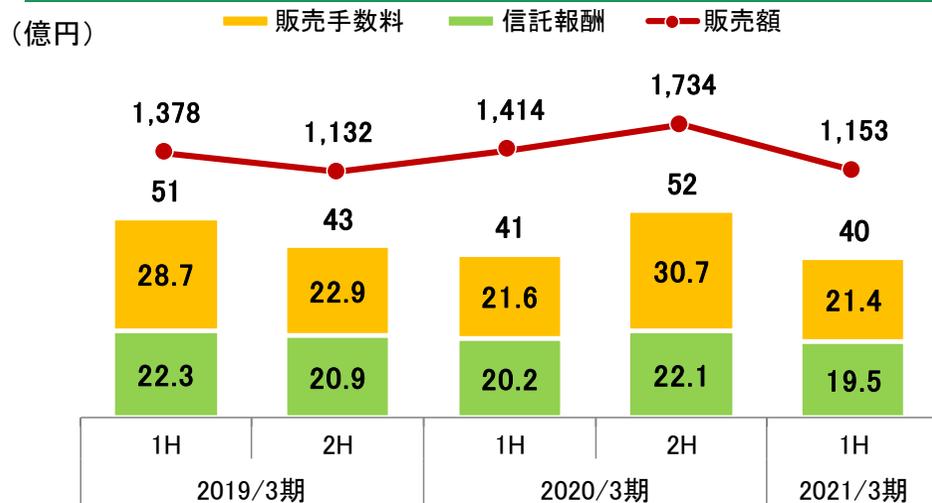
## 連結フィー収益比率\*1、銀行合算受入手数料



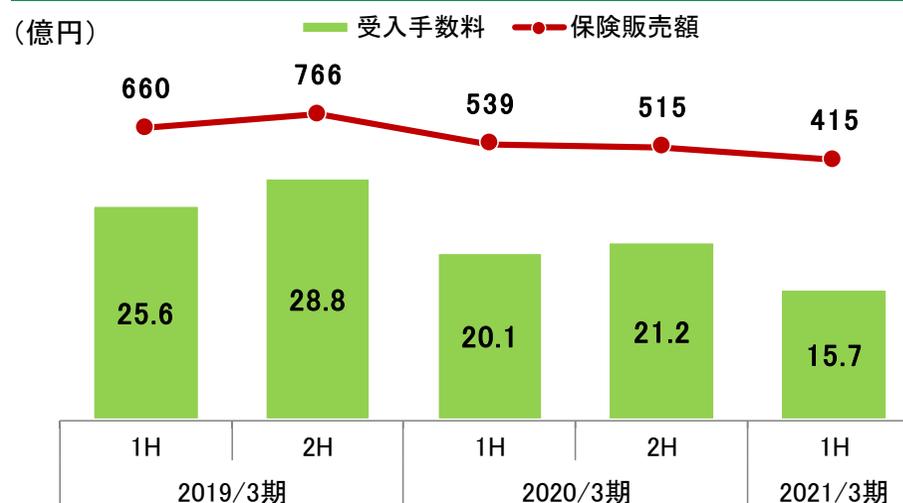
\*1. 役務取引等利益／業務粗利益      \*2. 内国為替、口座振替、EB、VISAデビット      \*3. その他の( )は住宅ローン関連

\*4. 2020/3期の法人関連、その他の計数については、2020年5月公表の計数から変更しております。

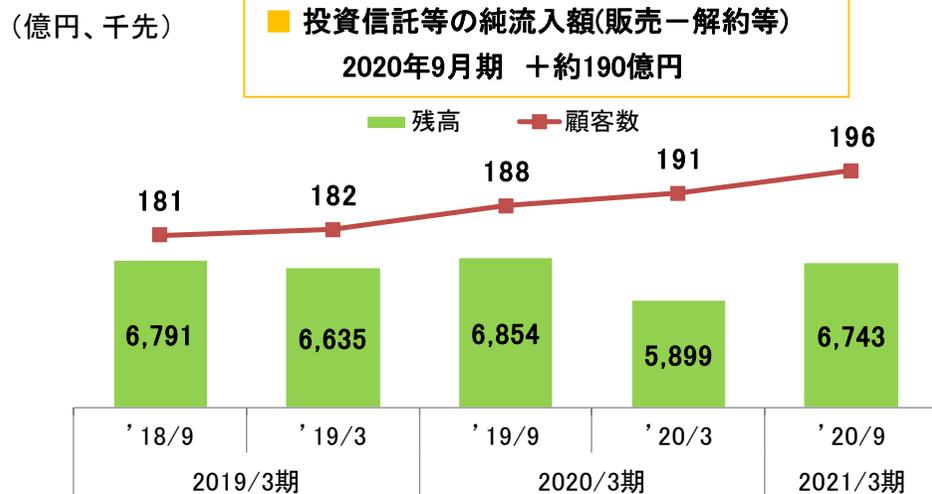
### 投資信託・ファンドラップ



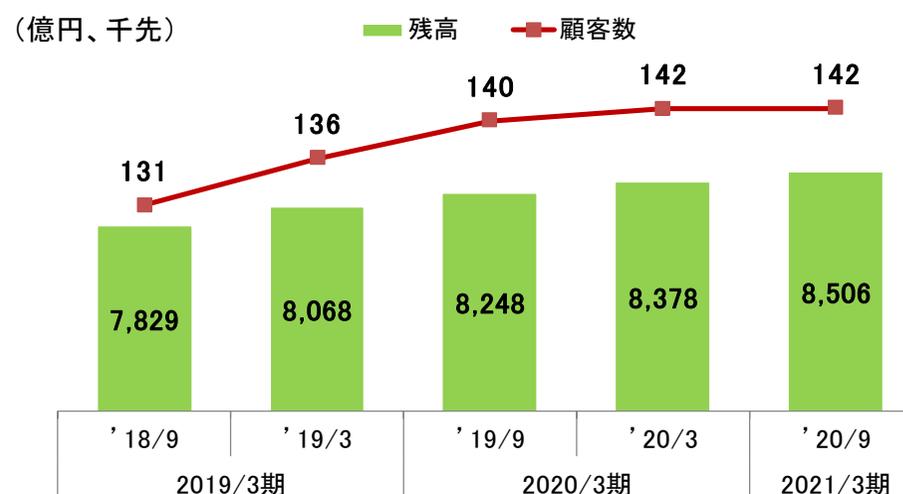
### 保険



### 個人向け投資信託・ファンドラップ残高・顧客数



### 保険残高・顧客数



# 与信費用、不良債権

## FG連結・銀行合算

### 与信費用

(億円)	2019/3期 実績 (ご参考)	2020/3期		2021/3期	
		中間期 実績	実績	中間期 実績	修正 計画
<b>FG連結</b> (1)	△50	△0	△62	△58	
<b>銀行合算</b> (2)	△41	6	△47	△40	△125
一般貸倒引当金 (3)	△14	12	16	△15	
個別貸倒引当金等 (4)	△26	△6	△63	△24	
新規発生 (5)	△87	△30	△68	△43	
回収・ 上方遷移等 (6)	60	24	4	18	
<b>連単差</b> (7)	△9	△7	△14	△17	
うち、住宅ローン保証会社 (8)	△5	△7	△16	△12	
うち、カード会社 (9)	△1	△0	△0	△0	
<b>&lt;与信費用比率&gt;</b> (単位: bps)					
銀行連結合算*1 (10)	△5.6	△0.1	△6.8	△12.5	
銀行合算*2 (11)	△4.5	1.3	△5.1	△8.5	

※1 正の値は戻入を表す

※2 与信費用比率は、与信費用を年換算ベースで算出

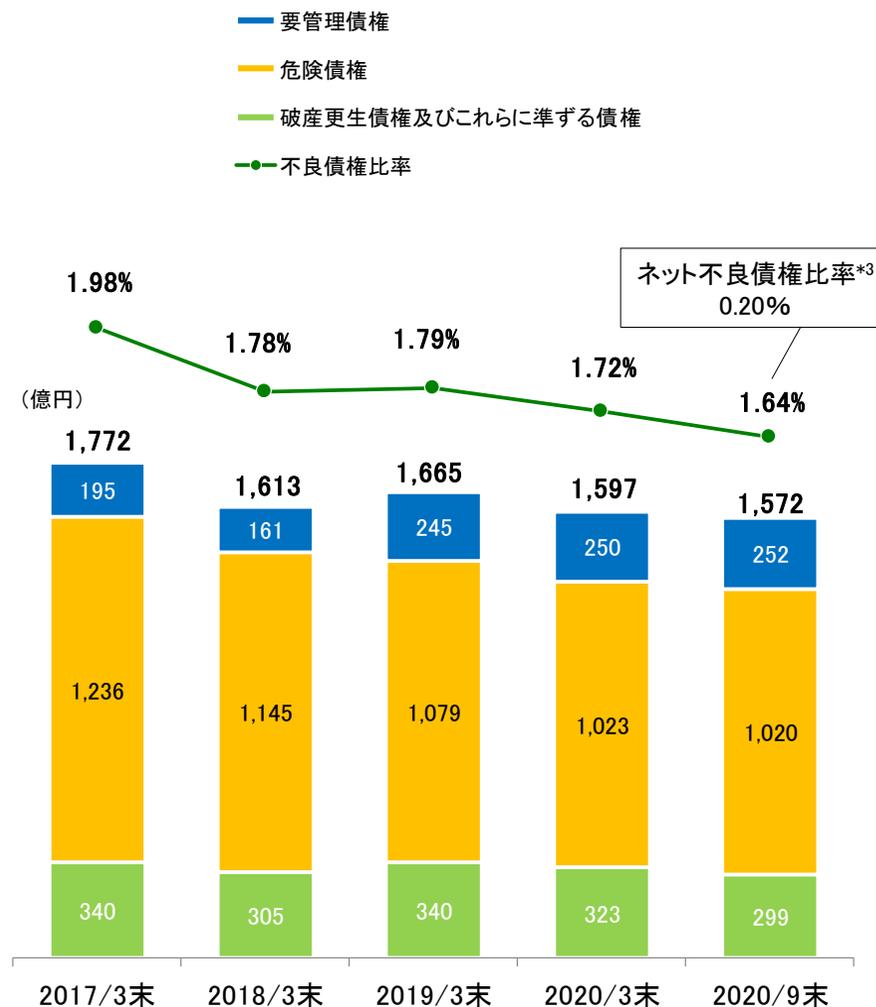
\*1. 銀行連結合算与信費用 / (銀行連結貸出金 + 銀行連結支払承認見返末残)  
(期首・期末平均)

\*2. 銀行合算与信費用 / 金融再生法基準与信残高 (期首・期末平均)

\*3. 担保/保証・引当金控除後不良債権比率

### 不良債権残高・比率の推移(銀行合算)

(金融再生法基準)



## 有価証券残高等

(億円)	2019/3末	2020/3末	2020/9末	評価差額
其他有価証券 *1 (1)	7,818	6,363	6,890	137
株式 (2)	218	162	146	130
債券 (3)	6,037	5,135	5,897	△2
国債 (4)	359	362	678	△7
(デュレーション) (5)	3.3年	13.8年	12.7年	-
(BPV) (6)	△0.1	△0.4	△0.8	-
地方債・社債 (7)	5,678	4,772	5,219	4
其他 (8)	1,562	1,066	846	9
外国証券 (9)	323	71	129	0
(デュレーション) (10)	7.2年	4.6年	7.2年	-
(BPV) (11)	△0.2	△0.0	△0.0	-
(評価差額) (12)	310	29	137	
満期保有債券 *2 (13)	2,076	2,177	2,399	20
国債 (14)	1,119	1,052	1,074	8
(評価差額) (15)	46	26	20	

\*1. 取得原価、時価のある有価証券

\*2. BS計上額、時価のある有価証券

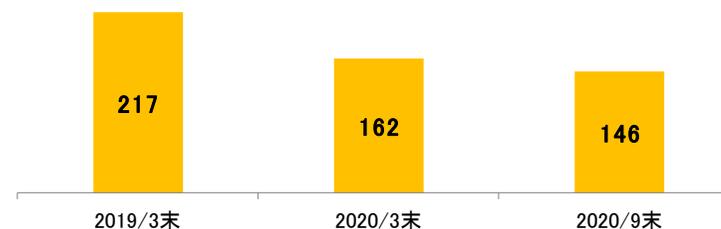
## 含み損益の状況

(億円)	2019/3末	2020/3末	2020/9末
債券+其他 (1)+(2)	36	△65	6
債券 (1)	20	△2	△2
其他 (2)	16	△63	9
外国証券 (3)	5	△1	0
投資信託、REIT (4)	8	△52	8
ETF (5)	△1	△9	△0
其他 (6)	5	0	0

## 政策保有株式\*3の保有状況

■ 損益分岐点株価(日経平均ベース) : 10,200円程度

(億円)



\*3. 取得原価、時価のある有価証券

### 自己資本比率(国内基準・FG連結)

(億円)	2020/3末 実績	2020/9末 実績	2020/3末比
<b>連結自己資本比率</b> (1)	8.05%	<b>8.33%</b>	+0.28%
<b>自己資本の額</b> (2)	4,475	4,545	+70
コア資本に係る基礎項目の額 (3)	4,651	4,720	+69
うち資本金及び剰余金の額 (4)	4,631	4,685	+54
うち劣後ローン (5)	9	—	△9
うち適格引当金等算入額 (6)	80	99	+19
コア資本に係る調整項目の額 (7)	176	175	△1
<b>リスク・アセット等</b> (8)	55,574	54,517	△1,056
信用リスク・アセットの額 (注) (9)	53,125	52,124	△1,000
マーケット・リスク相当額/8% (10)	50	32	△17
オペレーショナル・リスク相当額/8% (11)	2,398	2,360	△38
フロア調整額 (12)	—	—	—

#### 〈参考〉グループ銀行(連結)

関西みらい	みなと
8.64%	7.84%
3,266	1,604
3,474	1,645
3,374	1,589
—	—
167	64
207	40
37,767	20,448
35,004	19,749
11	—
1,651	699
1,099	—

#### ■ リスク・アセット等の増減要因

- 貸出金に係るリスク・アセットの減少   △535億円
- 投資信託等の残高減少                   △306億円

#### (注)信用リスク・アセットの額の計測手法

関西みらいフィナンシャルグループ	基礎的 内部格付手法 ( F-IRB )
関西みらい銀行	基礎的 内部格付手法 ( F-IRB )
みなと銀行	標準的手法 ( S A ) 〈 FG 連結算出時には F-IRB にて計測 〉

### FG連結

(億円)	中間期実績	通期目標	期初目標比
親会社株主に帰属する当期(中間)純利益 (1)	53	60	—

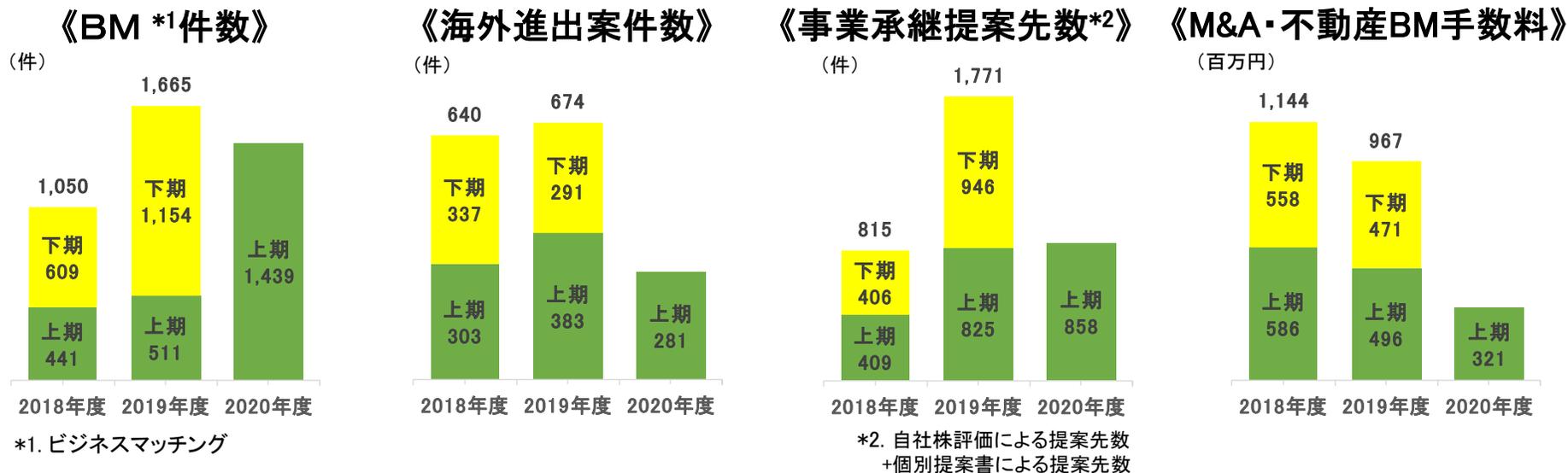
### 1株当たり普通配当

		1株当たり配当金	期初予想比
普通配当(年間予想) (2)	10円	—	—
うち中間配当 (3)	—	—	—

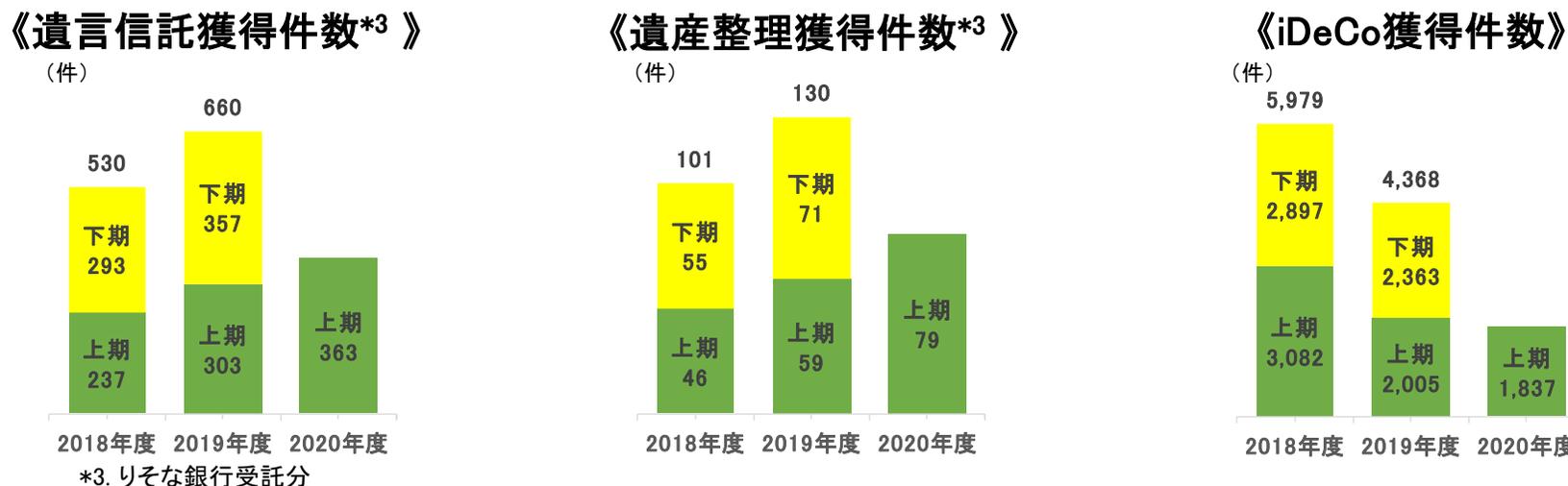
### 銀行合算/各社単体

(億円)	2行合算				関西みらい				みなと			
	中間期実績	通期目標	期初目標比	前期比	中間期実績	通期目標	期初目標比	前期比	中間期実績	通期目標	期初目標比	前期比
業務粗利益 (4)	641	1,330	—	△25	452	925	—	△21	188	405	—	△4
経費 (5)	△534	△1,095	+25	+3	△376	△770	+25	△1	△158	△325	—	+3
実質業務純益 (6)	107	235	+25	△22	76	155	+25	△21	30	80	—	—
株式等関係損益 (7)	23	25	—	△27	15	15	—	△42	7	10	—	+14
与信費用 (8)	△40	△125	—	△78	△22	△75	—	△45	△18	△50	—	△33
税引前当期(中間)純利益 (9)	72	95	+25	△28	59	65	+25	△2	12	30	—	△25
当期(中間)純利益 (10)	52	65	+15	△18	43	45	+15	—	8	20	—	△18

### 法人ソリューション



### 個人コンサルティング



## 2021年3月期 中間期決算の概要

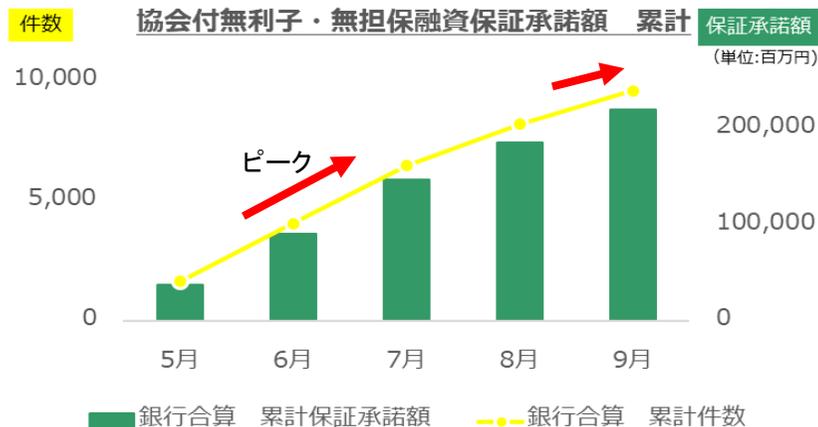
今後の主な取り組みについて  
(経営戦略について)

# 新型コロナウイルス感染症対応(「金融+α」の取り組み)

## お取引先支援の取り組み

### ■ コロナ関連融資(無担保・無利子融資の取組)

- ・ 協会付無利子・無担保融資取組件数・保証承諾額とも5月～7月にピークを迎え、現在は落ち着いている状況



### ■ コロナ禍で影響を受けたお客さまの再成長支援

<営業店・本部一体でのお客さまサポート>

- ・ お客さまの経営課題へ、営業店・本部が一体となり、より踏み込んだサポートを実施できる体制を構築  
関西みらい銀行: 法人業務部戦略支援グループ  
みなと銀行: 事業発展応援部

<資本的劣後ローンの取組強化>

- ・ お客さまの再成長支援のため、りそな銀行・日本政策投資銀行との協働ファンドの創設や再成長支援のための資本的劣後ローンの取組を強化

【協働ファンド(優先株式や劣後ローン)】

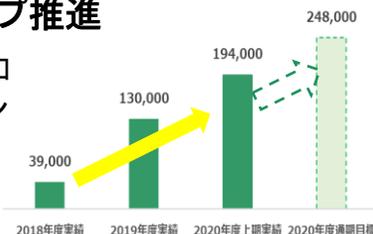
【資本的劣後ローン】

協働ファンド		関西みらい銀行	みなと銀行
RKDエンカレッジ ファンド(中堅企業)	KRエンカレッジ ファンド(中小企業)	みらい メザニンファンド	みなと メザニンファンド
総額100億円	総額50億円	総額30億円	総額10億円

## 非対面チャネル等への取り組み

### ■ グループアプリのセットアップ推進

- ・ 非対面チャネルニーズの増加により、グループアプリダウンロード件数は着実に増加



### ■ 非対面相談・取引の推奨

<相続・事業承継・資産形成サポート>

- ・ Zoomを活用した相続・承継に関する「web相談サービス」の取扱いを開始(関西みらい)
- ・ インターネットバンキング取引限定の資産形成支援キャンペーン「STAY HOME PARTY」の実施(関西みらい)
- ・ Minatoネットde 投信キャンペーンの実施(みなと)

## 地域応援

### ■ 各種商品を通じた医療機関、地域経済の応援

<融資商品を通じた応援>

- ・ 「CSR私募債～My Do(まいど)おおきに～」の寄付先に大阪府、滋賀県の医療応援寄附を追加(関西みらい)
- ・ 「みなと地域医療応援私募債『感謝』」の取扱開始(みなと)
- ・ 「みなと企業応援ファンド『ご繁盛』」の取扱開始(みなと)

<運用商品を通じた応援>

- ・ 「地域医療応援プロジェクト」の実施(関西みらい)

### ■ その他取り組み

- ・ 自治体、社会福祉団体を通じた衛生用品・防護服の寄贈
- ・ 簡易型フェイスシールドの制作・寄贈

# 改革への取り組み ①チャネル改革

- KMBにおける合併、事務システム統合効果の早期発揮や関西地銀最大の規模とグループ拠点を活かした効率的なネットワークの再構築を実現していく。

## 関西圏内における拠点の集約

- 2020年度上期では共同店舗化を中心とした拠点集約を20店舗実施
- 中期経営計画最終年度目標の90拠点集約に向け順調に進捗
- りそな銀行との共同店舗化の取り組みも開始



## 取り組み事例

### りそな銀行とのグループ共同店舗

- 関西みらい銀行にて、隣接していたりそな銀行の営業店との共同店舗化を実現(関西みらい銀行 富田支店)
- みなと銀行においても2020年11月16日に同取り組みを実施(みなと銀行 加古川支店)



関西みらい銀行:富田支店 りそな銀行:高槻富田支店

## その他取り組みの進捗

項目	施策	進捗状況
支店グループ化	融資取扱店舗集約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年9月完了</li> <li>・融資拠点約100拠点集約</li> </ul>
顧客接点拡大効率化	17時まで営業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京滋地区導入により、主要営業エリア全域へ導入完了</li> </ul>
	休日営業拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3地区へ新設(心齋橋、梅田、草津)</li> </ul>
ATM戦略	昼休業・平日休業拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来店客が少ない33カ店にて昼休業を実施(計50カ店)</li> </ul>
	台数削減・運営効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正なATM台数実現のため、47台削減</li> </ul>

### 休日営業拠点の設置拡大

- 関西みらい銀行にてセブンデイズプラザを3拠点新設し、計4拠点で平日に来店が難しいお客さまとの接点拡大への取り組み

サービス内容	設置場所	
セブンデイズプラザ 資産運用・保険・ローンの相談・契約 相続・遺言の相談 等	大阪府	心齋橋【新設】 グランフロント大阪(梅田)【新設】 あべのぼ(阿倍野)
	滋賀県	草津西【新設:滋賀県内で初】

# 改革への取り組み ②業務改革・デジタル化

- 中期経営計画期間での約40%の営業店事務量の削減に向けて、チャネル改革と一体となった業務改革・デジタル化への取り組みを加速させる
- また、MB事務システム統合プロジェクトをグループ全体で引き続き推進していく

## 業務改革・デジタル化の主な具体的施策

- ・ お客さまの待ち時間減少、記入・押印負担の減少、事務品質向上に向けて以下の施策を推進
- ・ 特に営業店事務量削減のエンジンとして、**店頭受付システムは50店舗、クイックナビは55店舗に導入**（2020年度上期まで合計）

### 【業務改革・デジタル化施策】

#### その1～ 店頭受付体制の変革

店頭受付タブレット設置、諸届のデータ処理化

#### その2～ クイックナビ導入店舗の拡大

2020年3月末時点の導入店舗50店舗を**100**店舗まで拡大

#### その3～ 印鑑の廃止

無印鑑での口座開設の拡大と、店頭での印鑑取引を廃止

#### その4～ タブレット機能の拡充

渉外先での預かり業務、投資信託買付、保険契約等のタブレット完結

#### その5～ 融資実行事務の簡素化

起案書ファイル電子化や財務データOCR化の早期定着、契約書の電子化

## MB事務システム統合プロジェクト

- ・ STEP1 お客さまサービス共通化に向けた取り組みの第1弾としてりそなファンドラップを導入（2020年10月26日）
- ・ りそなグループアプリ、りそなデビットカード等も順次導入すべく、グループ全体で本プロジェクトを推進



### 【MB事務システム統合プロジェクト】

#### MB事務システム統合プロジェクト

お客さま向けサービス共通化 (STEP1)	りそなオープンプラットフォーム戦略に基づきお客さま向けサービスの共通化 (ATM共通利用化、店頭サービス、資産運用、りそなグループアプリ・りそなデビットカード(Visaデビット)等)
りそなシステム共通化 (STEP2)	みなとシステムをりそなシステムに共通化 (勘定系システム統合等)

2020年度      2021年度      2022年度      2023年度～

#### 第2次中期経営計画期間

STEP1 お客さま向けサービス共通化  
(りそなオープンプラットフォーム戦略)

STEP2 りそなシステム共通化

## その他取り組み

- ・ 社員の在宅勤務、モバイルワークやサテライトオフィスの設置などテレワーク環境を整備
- ・ WEB会議ツールを活用した経営会議のなど、全社的な働き方改革に積極的に取り組んでいく

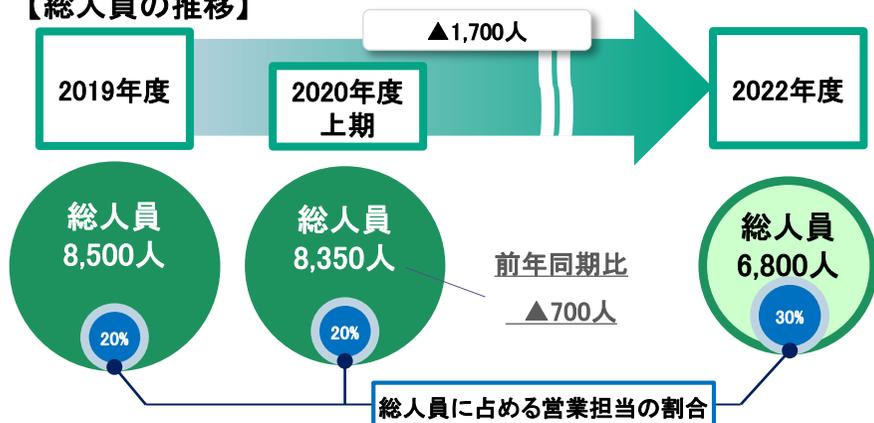
# 改革への取り組み ③人財改革

- 総人員の適正化・営業への再配置、みらい創造戦略人財の育成を継続
- グループ一体となった人財育成への積極的な取り組みを推進

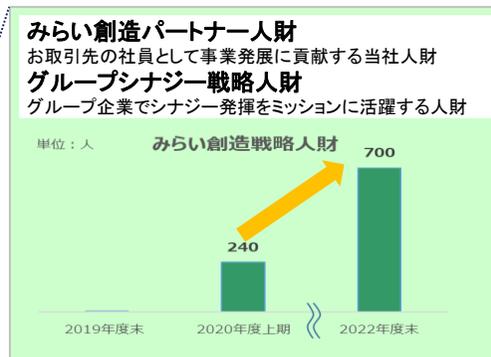
## 人財規模の適正化と再配置

- ・ 総人員の適正化や営業担当割合の増加に向けた取り組みを継続
- ・ みらい創造戦略人財は2020年度上期で約240名を創出

### 【総人員の推移】



### 【人員規模適正化の概要】



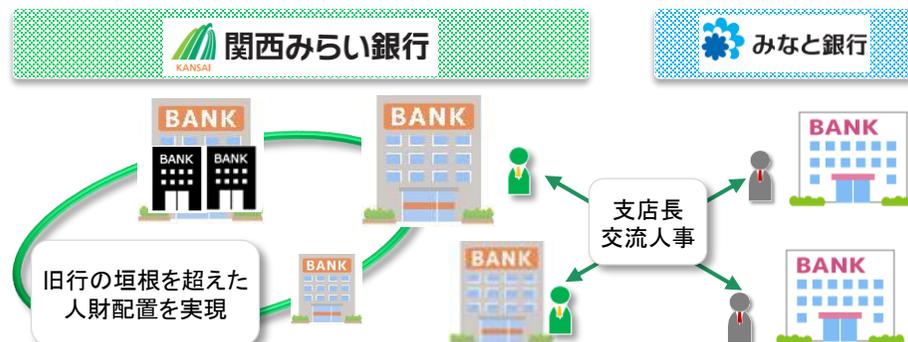
## 人財育成

- ・ お客様の「～したい」を全力サポートするプロ人財の育成、組織基盤強化、社員への成長サポートに向けた取り組みを継続



## その他取り組み

- ・ グループ銀行間(関西みらい銀行、みなと銀行)で支店長の交流人事を実施
- ・ 事務システム統合や共同店舗化、支店グループ化等による拠点集約により、旧行店舗の垣根を超えた人財配置を加速(関西みらい銀行)



# シナジーの進捗状況について

- 2020年上期のシナジーについて、営業シナジー、コストシナジーともに順調に進捗
- 今後も各施策を着実に実行していく
  - 営業シナジー : 2020年10月におけるMBファンドラップ導入
  - コストシナジー : 人財改革、チャネル改革の遂行

## 第二次中期経営計画期間

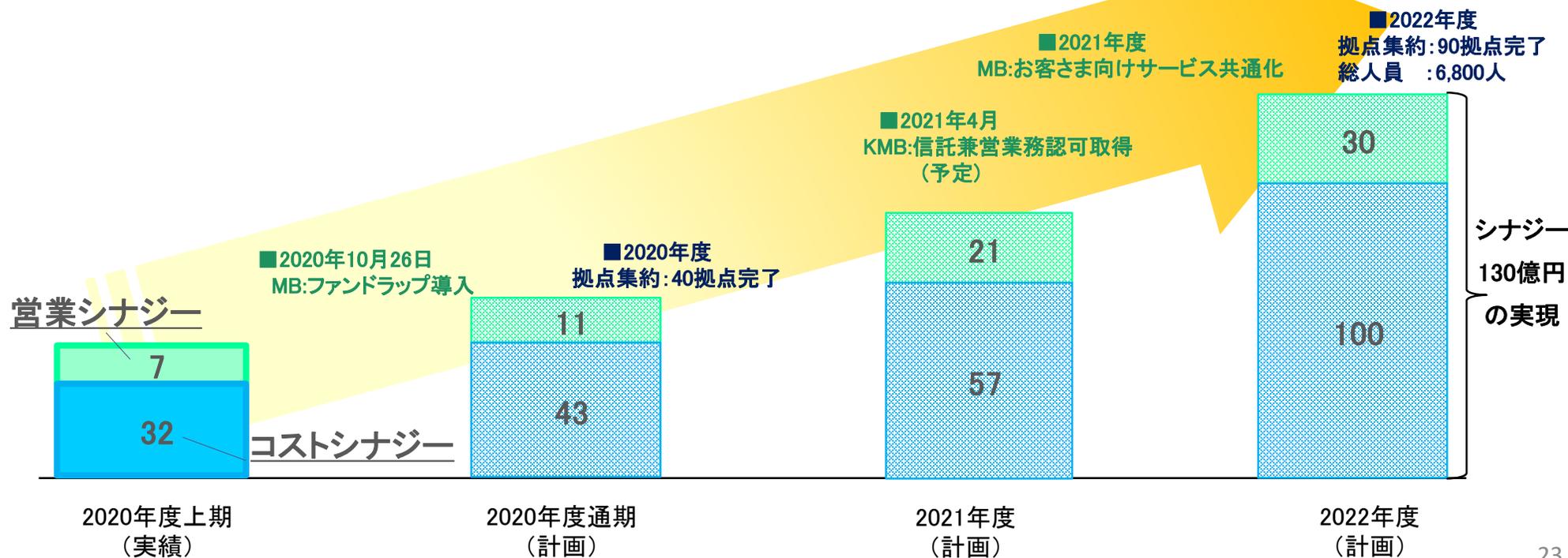
### 営業シナジー

HDの信託・不動産機能の活用、オムニ戦略・差別化商品の展開

### コストシナジー

人財最適化による人件費削減、チャネル最適化による物件費削減

(単位:億円)



# SDGsへの取り組みについて

- これまで触れてきたことに加え、以下の取組みを通じて地域経済の活性化に努めながら、環境・社会課題の解決と持続的成長の両立を目指す

(2030年SDGs達成に向けたコミットメント「関西みらいSustainability Challenge 2030」)

## 地域

地域経済の活性化



- お客さまへの対話・金融サービスを通じたSDGs推進支援 (SDGs啓発ペーパーの配布、SDGs関連金融商品の提供)
- 「Re:Heart倶楽部」への参画 (りそなグループ従業員のボランティア団体)



## 少子 高齢化

将来不安の解消、次世代支援



- 金融リテラシー向上に向けた相談会等の実施
- 子どもを対象とした文化・スポーツ活動 (キッズアカデミー、読書チャレンジ、エコノミクス甲子園等)

## 環境

地球温暖化・自然環境汚染への対応



- 環境負荷低減を応援する金融商品の提供
- 環境保全を目的としたボランティア活動
- ペーパーレス化の推進



## 人権

ダイバーシティ&インクルージョン



- 障がい者の就業支援(びわこビジネスサービス等)
- 衛生品の寄贈や大学生への募金
- 多様な働き方の支援

# 当社のさらなる成長に向けて

## 事業環境・競合環境

- ◆ 長引く超低金利環境
- ◆ 人口構成の変化や成熟社会の進展
- ◆ テクノロジーの進化に伴う金融ビジネスの変化
- ◆ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う内外経済環境の急速な不透明感の強まり

## 事業上の重要な課題

- ◆ 更なる業務効率化や経費コントロールによる筋肉質な経営態勢の構築
- ◆ 金利以外での金融サービスの対価をいただく力(役務収益力)の向上
- ◆ 地域経済を支える為の資本基盤の維持・充実

当社発足当時の想定を上回るスピードで厳しさを増す事業環境に対応するため  
事業上の課題への対応力を向上させるためには…

**りそなグループとしてのシナジーを最大限発揮できる体制の早期実現**

**親子上場を解消しりそなHDの完全子会社となることがベスト**

# 完全子会社化における当社としての意義

- 本件により、経営態勢の強化、りそなグループのソリューション機能・経営資源の最大限活用、資本基盤の安定性向上が図られ、コロナ禍における地域経済・お客さまをより強力でサポート

## 関西みらいFGの存続

- 関西みらいFGの経営理念は不変

### 経営理念

関西の未来とともに歩む金融グループとして、

お客さまとともに成長します。  
地域の豊かな未来を創造します。  
変革に挑戦し進化し続けます。

- りそなグループの中で、関西に根差した地域金融グループとして、関西みらいFGブランドを確立していく

## 想定効果

### 顧客サービス・利便性の向上

- りそなグループのソリューション機能（信託・不動産、国際業務、関連会社）の一体的展開を通じたビジネスサポート機能の強化
- りそなグループの顧客取引基盤・情報を活用したビジネスマッチング、M&A情報等のより充実した情報提供、提案の実施

### コストシナジーの発揮

- りそなグループとの共同店舗施策等の活用なども含めたチャンネルネットワークの更なる最適化
- 関西みらいFG・りそなグループでの本部一体運営の推進による本部人員スリム化の加速
- 関西みらいFG・りそなグループ全体での事務集中体制の見直し、企業不動産戦略の検討等、業務基盤の再構築

### 資本基盤の安定性向上

- 地域経済を支える為に必要な資本基盤の補完体制の整備
- 社外流出抑制による資本基盤の拡充など、柔軟な資本政策